

2. 主な学会発表業績

- 鈴木浩之、水野明夫、秋山順史、加藤文度、片山貴之、野村富美、松下文彦、式守道夫、鳥居修一、中村寿秀、茂木克俊：当科における口蓋腺良性腫瘍の臨床的検討。第 31 回日本口腔科学会中部地方会 1988.
- 鈴木浩之、水野明夫、内藤恭久、喜納 勇：ヒト顎骨骨膜由来骨芽様細胞培養に関する研究(第 1 報)。第 43 回日本口腔科学会総会 1989.
- 鈴木浩之、内藤恭久、橋本賢二、喜納 勇：ヒト顎骨骨膜由来骨芽様細胞培養に関する研究(第 2 報)。第 44 回日本口腔科学会総会 1990.
- 鈴木浩之、内藤恭久、喜納 勇：ヒト顎骨骨膜由来細胞培養による骨芽様細胞の特性に関する研究。第 80 回日本病理学会総会 1991.
- 鈴木浩之、橋本賢二：ヒト歯肉由来線維芽様細胞による異所性石灰化に関する研究。第 45 回日本口腔科学会総会 1991.
- 鈴木浩之、橋本賢二、北川善政、片山貴之、若杉正則、山口万枝、村井睦彦、佐塚太一郎、松下文彦、藤沢孝司、水野明夫：口腔癌に対する TPP(THP-ADM, CDDP, PEP)動注化学療法 の 検討。第 15 回日本頭頸部腫瘍学会総会 1991.
- 鈴木浩之、橋本賢二、佐塚太一郎、若杉正則、村井睦彦、水野明夫、亀山洋一郎：臼後腺原発が疑われた唾液腺管癌の 1 例。第 36 回日本口腔外科学会総会, 1991.
- 鈴木浩之、呉凱、橋本賢二：培養骨芽様細胞に対する半導体レーザーの影響。第 46 回日本口腔科学会総会, 1992.
- 鈴木浩之、橋本賢二、北川善政、式守道夫、山田一郎、山口万枝、藤巻 元、福田廣志：口腔癌に対する TPP(THP-ADM, CDDP, PEP)動注化学療法 の組織学的評価第 37 回日本口腔外科学会総会, 1992.
- 鈴木浩之、田中英俊、橋本賢二：培養骨芽細胞に対する半導体レーザー照射の影響に関する実験的研究。第 5 回レーザー歯学会総会, 1993.
- 鈴木浩之、橋本賢二：頭頸部癌に対する THP 先行動注化学療法 の臨床的および組織学的評価。第 40 回 日本化学療法学会西日本総会, 1993.
- 鈴木浩之、橋本賢二：TPP (THP-ADM, CDDP, PEP) 動注化学療法 の臨床的および病理組織学的評価。第 41 回日本耳鼻咽喉科学会静岡県地方部会学術講演会, 1993.
- 鈴木浩之、橋本賢二：唇顎口蓋裂を伴った 4q-症候群の 1 例。第 41 回日本口腔外科学会総会, 1996.

- 鈴木浩之、橋本賢二：当院における Dental CT 応用症例に関する検討 -特に嚢胞性疾患における評価について- 第 44 回日本口腔外科学会総会, 1999.
- 鈴木浩之、橋本賢二：舌下部に発生したリンパ上皮性嚢胞の 1 例と文献的考察. 第 54 回日本口腔科学会総会, 2000.
- 鈴木浩之、橋本賢二、北山康彦、梶村春彦：p16INK4A の発現および HPV 感染の有無が口腔癌の悪性度に及ぼす影響. 第 92 回日本病理学会総会, 2003.
- 鈴木浩之、梶村春彦、橋本賢二：p16INK4A の発現および HPV 感染の有無が口腔癌の悪性度に及ぼす影響. 第 57 回日本口腔科学会総会, 2003.
- 鈴木浩之、梶村春彦、橋本賢二：p16INK4A 癌抑制遺伝子のエナメル上皮腫における発現. 第 48 回日本口腔外科学会総会, 2003.
- 鈴木浩之、橋本賢二、北山康彦、梶村春彦：p16INK4A の発現の有無が口腔癌の悪性度に及ぼす影響に関する研究.第 62 回日本癌学会総会, 2003.
- Hiroyuki Suzuki, Kenji Hashimoto, Haruhiko Sugimura: p16INK4A expression in oral squamous cell carcinomas. Kyungpook-Hamamatsu Joint Medical Symposium (KHJMS), Kyungpook Meeting. Republic of Korea, 2003.
- 鈴木浩之、橋本賢二： Er:YAG レーザーの口腔外科的疾患への応用. 第 5 回 Er:YAG レーザー 研究会[招待講演], 2002.
- 鈴木浩之、橋本賢二： Er:YAG レーザーの口腔外科的疾患への応用. 日本レーザー医学会総 会 2003.
- 鈴木浩之、梶村春彦、橋本賢二： p16INK4A および Ki-67 のエナメル上皮腫における発現. 免疫組織化学的および FISH による検討. 第 49 回日本口腔外科学会,2004.
- Hiroyuki Suzuki, Haruhiko Sugimura , Kenji Hashimoto: Expression and absence of loss of heterozygosity (LOH) of p16INK4A in ameloblastoma Immunohistochemical and FISH analysis. 6th Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgery, Chiba, Japan, 2004.
- Hiroyuki Suzuki, Haruhiko Sugimura, Kenji Hashimoto: p16INK4A expression in oral squamous cell carcinomas - Correlation with biological behaviors, immunohistochemical and FISH analysis. 10th International Congress on Oral Cancer, Greece, 2005. 3
- 鈴木浩之、橋本賢二： Heat shock protein 27 は口腔癌の予後に関係する. 第 50 回日本口腔外科学会総会, 2005.
- 鈴木浩之、橋本賢二： 口腔癌における COX-2 と Laminin5 γ 2 の局在に関する研究. 第 60 回日本口腔

科学会総会, 2006.

- Hiroyuki Suzuki, Kenji Hashimoto: Expression and localization of laminin5 γ 2 and COX-2 in oral squamous cell carcinoma. 7th Asian Congress of Oral and Maxillofacial Surgery. Hong Kong, 2006.
- 鈴木浩之、橋本賢二:エナメル上皮腫における Apoptosis 関連因子の発現. 第 61 回日本口腔科学会総会, 2007.
- Hiroyuki Suzuki, Kenji Hashimoto: Expression of cellular apoptosis susceptibility protein in oral squamous cell carcinoma. 12th International Congress on Oral Cancer, in Shanghai, 2008
- 鈴木浩之:「その歯周病、放っておいて大丈夫？」 中日新聞社文化センター主催 健康科学セミナー, 2008.
- 鈴木浩之、橋本賢二:口腔癌における Cellular apoptosis susceptibility protein の発現. 第 62 回日本口腔科学会総会,2008.
- 鈴木浩之、橋本賢二:口腔扁平上皮癌における p53, CAS の発現. 第 53 回日本口腔外科学会総会,2008.
- 鈴木浩之:「歯を失ってしまったら...『口腔インプラント』のお話」 日本口腔科学会主催 市民公開講座, 2009.
- Hiroyuki Suzuki, Kenji Hashimoto: Co-expression of Laminin-5 γ 2 and p53 in oral squamous cell carcinoma. 19th International Conference on Oral and Maxillofacial surgery, in Shanghai, 2009.
- 宮崎了輔、河崎秀陽、加藤寿美、石川 励、吉村克洋、山田英孝、酒井康弘、鈴木浩之、増本一真、新村和也:エナメル上皮腫における一次繊毛の保持と CEP164 の過剰発現. 第 115 回 日本病理学会総会、2026年4月.